

瀬戸内から、新たなゆたかさを實現するフォーラム

(略称“瀬戸内フォーラム”)

瀬戸内は約700からなる島々が点在する日本最大の内海であり、その多島美と歴史に深く根差した文化、芸術は内外の人々を魅了します。また、農業のほか沿岸・養殖漁業や製鉄、繊維、製紙、造船など多様な産業を抱えています。瀬戸内フォーラムでは、関係省庁や自治体、大学、経済団体、有識者、議員らで協力して、こうした瀬戸内の潜在能力を活かし、内外の人々をさらに惹きつける、**瀬戸内エコノミー（瀬戸内海を舞台として新しい資本主義）の構築**を目指します(図1)。

瀬戸内海を舞台とした新しい資本主義

- 1 ビジョン**
瀬戸内エリアで広域連携し社会課題をビジネスとして解決し付加価値を創造する。
- 2 ミッション**
地域と組織と市場の垣根をなくし、人と資本と知恵の流動性を高める。
- 3 プロジェクト例**
 - ・横ぐし航路の整備
 - ・海業の推進etc.

実現化



瀬戸内エコシステム

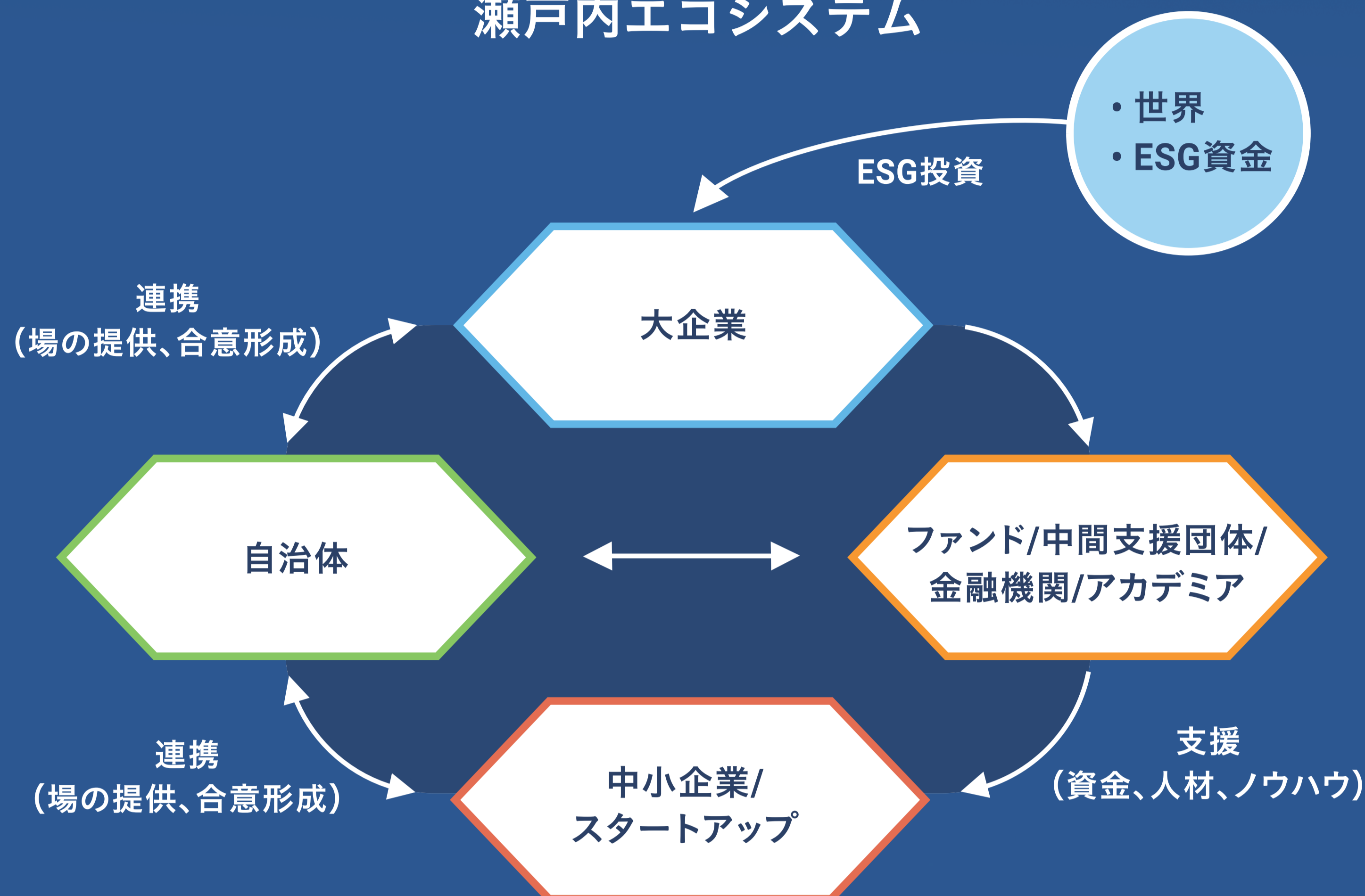


図1 瀬戸内フォーラムでは、瀬戸内海を舞台とした新しい資本主義の實現を目指し、その實現に必要なエコシステムを創出していきます。瀬戸内エリアで県境や自治体の境界を越えて連携し、地域と組織、市場の垣根をなくし、人と資本と知恵の流動性を高めることで、社会課題をビジネスとして解決し付加価値を創造します。生態系の回復といった海における社会実験に適した「閉じた内海」、日本を代表する貿易港や、大学等のアカデミズムも存在します。こうした潜在能力を生かし、内外の人々をさらに惹きつける、瀬戸内エコノミーを構築します。

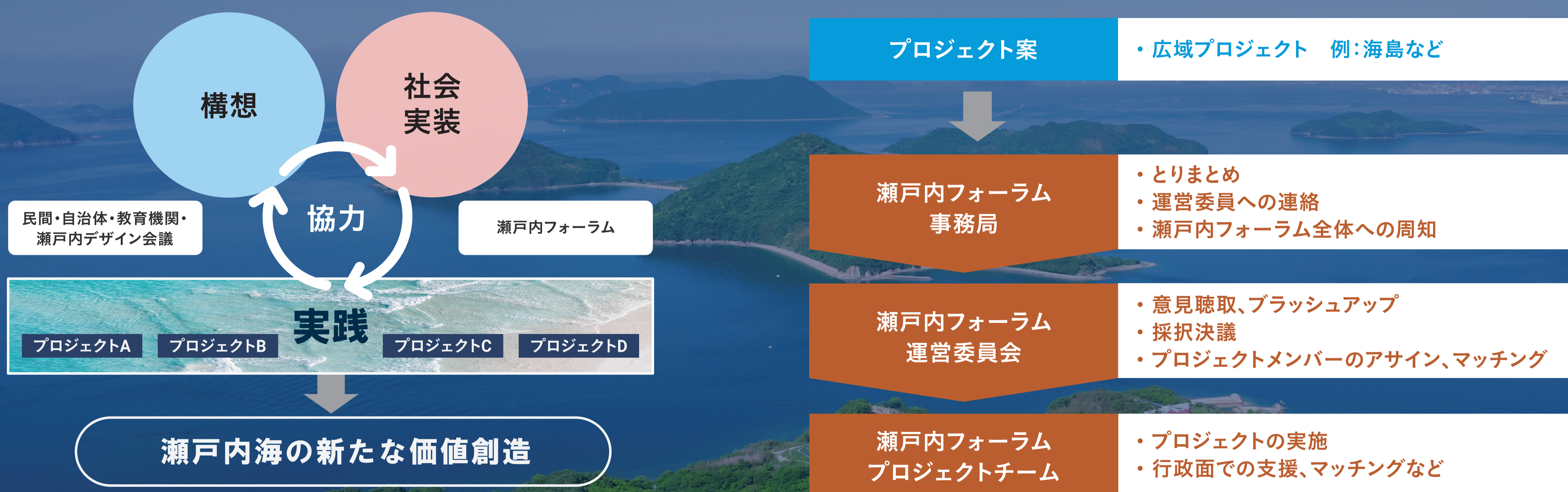


図2 民間、自治体、教育機関、瀬戸内デザイン会議といった組織からの構想をもとに、関係府省庁、自治体、大学、経済団体、有識者、議員らが集まる瀬戸内フォーラムは構想の社会実装に必要な規制緩和など、雑多な手続きを担当する。社会課題には地域をまたいで広域に共通するものが多いため、2県以上にまたがるプロジェクトを募り、超党派の国会議員や民間の有識者から組織されるフォーラム運営委員会とともにプロジェクトを実施していきます。



プロジェクト募集中

フォームよりご応募下さい >>

▶ フォーラムへの入会やプロジェクト応募、お問い合わせ先
瀬戸内フォーラム事務局(笹川平和財団内) E-mail: setouchi-forum@spf.or.jp

